もくれん
木蓮

第　31　号
金沢商業高校図書館だより
平成27年10月27日（火）

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮（もくれん）」をお届けします。

韋編三絶

11月3日の「文化の日」をはさむ10月27日からの2週間は「読書週間」です。この時期は「韋編三絶（いへんさんぜつ）」という読書法の原点に立ち返ってみる必要性があるかもしれません。「韋編」は紙がまだなかった古代中国で、竹製のふだをなめし皮のひもでつづって巻いた書籍をさします。晩年の孔子が『易経』を愛読して、編みひもが3度も切れたという故事から、繰り返し読むことを「韋編三絶」といいます。「読書百遍、義自（おのずか）ら見（あらわ）る」は本は百回くりかえして読めば、自然に意味が理解できるようになるということです。どちらも書物を一過性の情報として読むのではなく、熟読玩味することの重要性を説いています。「学ぶ方法とは、繰り返して多くを読むことだ」といったのは、フランスの思想家アラン。古今東西、暗記するほど、愛読することの意味は変わることがありません。読書の秋、愛読しましょう。金商図書館もあなたのお手伝いをします。

新着雑誌

『オレンジページ』

オレンジページ
大根メニューがうまい！

●クッキング、生活、健康等に関する生活情報誌です。おいしそうなレシピは必見！

●創刊60年近くの日本を代表する洋画雑誌です。海外の最新作話題作をいち早く紹介、充実の洋画雑誌。一ローだちに出会える。受ける100の課題に195の知性が挑戦します。

図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

『左手一本のシュート』島沢優子著

高校入学式の3日前。県下No.1のバスケット選手の田中正幸15歳を、脳出血という悲運が襲います。バスケットはもう無理という宣告を覆し夢を心に誓います。懸命にリハビリする姿など復活までの道のりが描かれていてとても感動します。（37H）

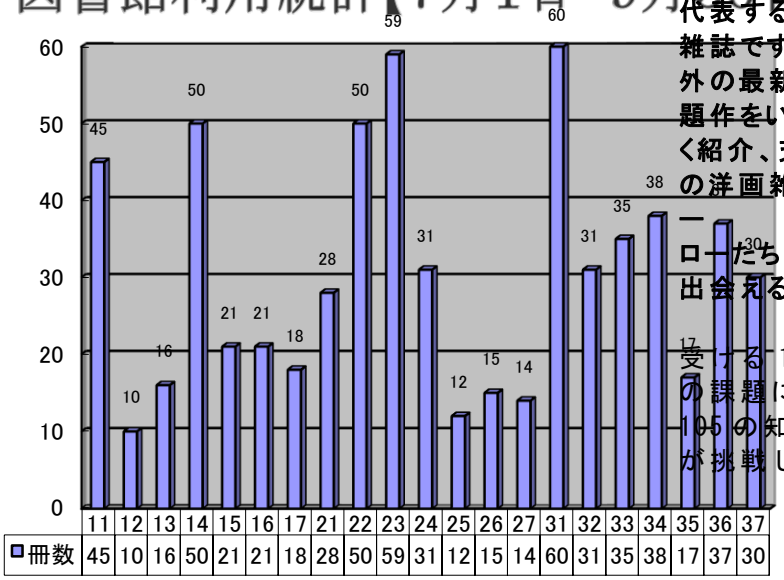
『1リットルの涙』木藤亜矢著

一人の若い女性が中学生の時に発症した難病と闘った実話を記した本です。映画化、テレビドラマ化もされました。病気で苦しみながらも頑張る主人公の姿に感動します。（37H）

『日本男児』長友佑都著

「意思あるところ道はできる」「努力は裏切らない」長友選手を支えた二つの言葉です。人並み外れた意思の強さと、想像を絶する努力に長友選手の強さの秘密がわかります。自分の意識について考えさせられたし、日々の練習を頑張ろうと思えた一冊です。（21H）

図書館利用統計【7月1日～9月30日】



7月～9月の図書貸し出し総数は638冊でした。開館日数は59日で、1日平均にすると約10.8冊の貸し出しです。学年別では3年生が248冊、2年生が209冊で、1年生は181冊でした。入館者の総数は6,373人で、1日平均約108人の利用でした。図書館での授業は49時間ありました。新着図書も続々入ってきています！秋の夜長に読書をしましょう！

ありがとう

図書の寄贈がありました。
＊㈱川村様より『北国新聞縮刷版4～7月号』4冊

「いつだって、読書日和」

読書週間の歴史は、終戦まもない1947年、まだ戦火の傷痕が至る所に残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・書店と図書館、新聞等マスコミも加わって、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年からは10月27日～11月9日と定められ、この運動は全国に拡がりました。